

都市再生フォーラムの実績

住宅・都市整備公団時代の平成9年に「住都総研フォーラム」として、「都市の真の豊かさとは」をテーマに開催したのが最初です。

平成10年には、「都市再生におけるまちづくり専門家との連携」「パートナーシップによるまちづくり」をテーマに200人規模で開催しました。

平成11年に都市基盤整備公団となった時、「都市整備フォーラム」と名を変え、「新しい都市産業と変化するワークスタイル」「選択される都市～社会経済環境に適応し変化するまちづくり～」をテーマに据え、400人規模で開催しました。

毎回、都市や建築に関する学識経験者や有識者だけでなく、経済やNPOなど様々な分野の方々や、時には諸外国からも講師をお迎えし、主に住まいづくり・まちづくりの専門家を対象として開催してまいりました。

平成13年には、「美しいまちづくりフォーラム」として都市の景観に的を絞ったフォーラムを開催。この時から、1,000人規模に拡大し、一般の方々にも広くご参加いただくようになりました。

平成15年度は、養老孟司氏、日比野克彦氏、隈研吾氏を迎え「都市の原点～人間と都市～」をテーマに「第3回都市整備フォーラム」を開催、つづく「第4回都市整備フォーラム」では、荒俣宏氏、岩橋謹次氏、隈研吾氏を迎え「都市の行方～魅せる都市へ～」をテーマに開催しました。

平成16年度は、独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）となり、新たに「第1回都市再生フォーラム」を開催しました。このフォーラムでは、基調講演に安藤忠雄氏を迎え、阪神・淡路大震災10年イベントとして「活かす。～震災復興の経験を、人が輝く都市へ～」をテーマに、東京圏域における震災対策について考えるフォーラムを開催しました。